

ひらかたモデル作成に向けて

めざす姿

- ・ 少子化の中でも、将来にわたり、枚方市の子ども達がスポーツ・文化芸術に**継続して親しむことができる機会**を確保
- ・ **地域の持続可能**で多様なスポーツ・文化芸術等に親しむ環境を一体的に整備し、**子ども達の多様な体験機会**を確保

ひらかたモデル策定のための課題

- (1) 指導者の質の保障・量の確保方策（教員の兼職兼業含む）
- (2) スポーツ施設の確保方策
- (3) 会費の在り方
- (4) 保険の在り方
- (5) 保護者・地域への周知方法について
- (6) 部活動に係る備品について
- (7) 新たな課題検証

① 統括団体によるクラブ運営型（案）

各年間45回程度（原則週1回3時間）

指導者の派遣
は統括団体の
人材バンクより

〇〇中学校

バスケットボールクラブ
サッカークラブ
陸上クラブ
吹奏楽クラブ 等

拠点クラブA

軟式野球クラブ（男子）
剣道クラブ

拠点クラブB

軟式野球クラブ（女子）
女子サッカークラブ

拠点クラブC

ラグビークラブ

②学校部活動・地域部活動 組み合わせ型(案)

各年間45回程度(原則週1回3時間)

指導者の派遣
は統括団体の
人材バンクより

〇〇中学校

バスケットボールクラブ
サッカークラブ
陸上クラブ
吹奏楽クラブ
軟式野球クラブ(男子)
剣道クラブ 等

〇〇中学校

バスケットボールクラブ
サッカークラブ
陸上クラブ
吹奏楽クラブ
軟式野球クラブ(女子)
女子サッカークラブ 等

〇〇中学校

バスケットボールクラブ
サッカークラブ
陸上クラブ
吹奏楽クラブ
ラグビークラブ 等

〇〇中学校

バスケットボールクラブ
サッカークラブ
陸上クラブ
吹奏楽クラブ 等

③ー1 自由体験型 地域部活動(レア型)(案)

各年間40回程度

指導者の派遣
は統括団体の
人材バンクより

場所未定

Eスポーツクラブ等

場所未定

スケートボードクラブ等

場所未定

ダンスクラブ等

場所未定

ボウリングクラブ等

場所未定

女子サッカークラブ等

③-2 自由体験型 地域部活動(体験型)(案)

各年間10回程度

指導者は
大学生など

関西外国語大学

〇〇クラブ
〇〇クラブ

摂南大学枚方キャンパス

〇〇クラブ
〇〇クラブ

大阪工業大学

〇〇クラブ
〇〇クラブ

大阪歯科大学

〇〇クラブ
〇〇クラブ

③-2 自由体験型 地域部活動(体験型)(案)

指導者は
生涯学習市
民センター所
属団体など

各年間10回程度

〇〇生涯学習市民センターなど

〇〇クラブ

〇〇生涯学習市民センターなど

〇〇クラブ

〇〇生涯学習市民センターなど

〇〇クラブ

〇〇生涯学習市民センターなど

〇〇クラブ

〇〇生涯学習市民センターなど

〇〇クラブ

〇〇生涯学習市民センターなど

〇〇クラブ

①学校部活動(案)

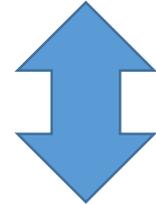
休日の体制整備後

部活動方針の改訂

平日は1時間以内

休日は活動しない

必修クラブを市として導入(週1時間授業時間として)など



同時並行的に進めて行く

平日の受け皿の整備

総合型スポーツクラブの拡大

生涯学習市民センターでの文化系クラブへの受け入れ

オンラインなどを活用した吹奏楽のレッスン 等

区分	生徒の希望	活動場所	指導者	費用負担
① 統括団体によるクラブ運営型 統括団体により地域クラブを運営していく形	大会などでの活躍をめざす 様々なスポーツや文化に親しむことをめざす	各学校・拠点校・外部施設など	団体の専門人材・教員の兼業	検討課題
② 学校部活動・地域部活動 組み合わせ型 現在の部活動に外部指導者を派遣する形	大会などでの活躍をめざす 様々なスポーツや文化に親しむことをめざす	学校	有資格の外部人材・教員の兼業	
③-1 自由体験型 地域部活動（レア型） 統括団体が、従来の学校にない競技を新たな受け皿として設置し運営する形	大会などでの活躍をめざす 様々なスポーツや文化に親しむことをめざす	大学・生涯学習市民センターなど	団体の専門人材・教員の兼業	
③-2 自由体験型 地域部活動（体験型） 大学等との連携により新たな受け皿を設置し運営する形	様々なスポーツや文化に親しむことをめざす	大学・生涯学習市民センターなど	学生等	
④ 授業の延長的活動型 学校部活動 授業の延長的な活動で、平日に30分から60分程度、勤務時間の範囲内で教員が対応する形	様々なスポーツや文化に親しむことをめざす	学校	教員	

中学校全生徒数9407人 部活動所属生徒数8254人	指導者数	年間総事業費	負担の内訳		生徒一人あたり
区分			保護者	市	
①-1 統括団体によるクラブ運営型 Sエキスパート型 (指導者謝金 4000円/1時間 交通費500円) 統括団体により地域クラブを運営していく形 (年45回) 294クラブ (運動部+プラスバンド部) 消耗品費1クラブ50000円/年 事務手数料	2人	414,540,000円			運動部+プラスバンド部=6891人で試算 60,158円/年 5,013円/月 保険料800円/年
①-2 統括団体によるクラブ運営型 エキスパート型 (指導者謝金 3000円/1時間 交通費500円) 統括団体により地域クラブを運営していく形 (年45回)	2人	319,284,000円			46,333円/年 3,861円/月 保険料800円/年
①-3 統括団体によるクラブ運営型 スタンダード型 (指導者謝金 1600円/1時間 交通費500円) 統括団体により地域クラブを運営していく形 (年45回)	2人	185,925,600円			26,980円/年 2,248円/月 保険料800円/年
③-1 自由体験型 地域部活動 (レア型) (指導者謝金 1600円/1時間 交通費500円) 統括団体が、従来の学校にない競技を新たな受け皿として設置し運営する形 (年40回) 20クラブ 会場使用料10000円/1回 消耗品費1クラブ50000円/年 事務手数料	2人	20,976,000円			1クラブ30人20クラブ=600人で試算 34,960円/年 2,913円/月 保険料800円/年
② 学校部活動・地域部活動 組み合わせ型 (指導者謝金 1600円/1時間) 現在の部活動に外部指導者 (部活動指導員) を派遣する形 739,200円 (平日含む) /1人 343部活 (現状 文化部+運動部)	1人 2人	253,545,600円 50,7091,200円			部活動全参加者8254人で試算 1人: 30,717円/年 2人: 61,435円/年
③-2 自由体験型 地域部活動 (体験型) 大学部活動等との連携により新たな受け皿を設置し運営する形 (年10回) 8クラブ×10回/年×10000円	大学部活動のメンバー数	800,000円			参加料◇◇円 保険料年間800円
④ 授業の延長的活動型 学校部活動 授業の延長的な活動で、平日に30分から60分程度、勤務時間の範囲内で教員が対応する形		0円	0円	0円	参加料なし 11

検討課題

市内各種スクール等団体の会費について

バスケットボール

スクールA
週1回コース3,000円
週2回コース4,500円
その他練習日+500円
保険料800円

スクールB
週1回月4回
月謝5,000円

スクールC
週1回
1回500円
保険料800円
別途会場使用料等必要

スクールD
週1回月4回
入会・年会費
(傷害保険含む) 5,000円
週1回月4回3,500円

サッカー

スクールE
週3回
月謝(中1・2) 9,000円
月謝(中3) 13,500円

スクールF
週1回
入会金5,500円
教材費5,500円
年会費(月) 1,100円
週1回コース10,065円

水泳

スクールG
コース① 週1回8,470円 週2回11,110円 週3回12,320円
コース② 月4回自由出席8,250円 月8回自由出席10,890円

総合型地域スポーツクラブ

登録料 1,000円 月会費1,500円

フットサル 週1回
ショートテニス週1回
バレーボール週1回
卓球週1回
軟式野球週1回
基礎代謝向上週1回

ソフトテニス 週1回
テニス週1回・週2回
バドミントン週1回
バスケットボール週1回
ソフトバレー週1回

バレーボール
週3回
プラスの月会費3,500円

ストリートダンス
週1回
プラスの月会費1,500円

ハワイアンフラ
週1回
プラスの月会費1,500円

陸上競技
週2回
プラスの月会費2,500円

チアリーディング
週1回
プラスの月会費3,500円